

シリーズ〈現代の作家〉

反骨の画家 利根山光人展 —バイタリティーを求めて—

Toneyama Kojin Retrospective



《フィエスタ》1978年 スクリーンプリント 個人蔵

2013年6月22日（土） ～ 8月4日（日）

月曜休館 但し7月15日（祝）は開館、翌16日（火）休館

平日 10:00～17:00（入場は16:30まで）

土・日・祝 10:00～17:30（入場は17:00まで）

観覧料 一般：600（500）円／ 大学・高校生と65才以上300（200）円／
中学生以下は無料

♪（ ）内は20名以上の団体料金

♪ 展覧会初日6/22（土）は入場無料

♪ 身体障がい者手帳または愛の手帳等をお持ちの方と付き添いの方1名は半額

版画でひろがるアートの町田

町田市立国際版画美術館

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1
Tel: 042-726-2771 / 0860

展覧会概要

利根山光人(とねやま こうじん、1921-1994)は、バイタリティーを求めて佐久間ダム建設現場や炭鉱、メキシコの古代遺跡、インドの石窟、ヨーロッパや日本の古墳などを訪れ、現地で体感した人間の原初的生命力を版画や油彩画、壁画にダイナミックに表現し続けた画家でした。また、古代文明や小説「ドン・キホーテ」に現代社会の危機を見出し、それを痛烈な表現によって示唆した反骨精神に満ちた画家でした。

展覧会ではメキシコの古代文明に衝撃を受けて制作した作品をはじめ、初期から晩年までの版画などを全 12 コーナーに分けて約 130 点展示し、作品の内容とその変化を振り返るとともに、作品を通して画家が伝えようとした現代へのメッセージについて考えてみます。

展示構成

- I. 前衛へ—1950 年代
 - II. メキシコ体験以後—1960 年代
 - III. プリミティブな造形—木版画
 - IV. 悪魔払い—メキシコ民族誌への興味
 - V. 日本の伝統行事・祭り
 - VI. ビバ・メヒコ(メキシコ万歳)
 - VII. メキシコ古代文明と日本の装飾古墳
 - VIII. 「馬」
 - IX. インド女神
 - X. 闘牛
 - XI. ドン・キホーテ
 - XII. 戦争の爪痕
- 以上、全 12 コーナー

利根山光人(とねやま こうじん)略歴

- 1921 年 茨城県に生まれる。
- 1943 年 早稲田大学教育学部を卒業。
- 1951 年 「読売アンデパンダン展」に出品し、前衛画家として活動を開始。
- 1954 年 佐久間ダム工事現場で生活し、そこでの体験をもとに制作。
- 1955 年 東京国立博物館で開催の「メキシコ美術展」に触発される。
- 1959 年 初めてメキシコへ渡航、マヤ文明に衝撃を受ける。半年滞在後の帰途に西欧を訪れ、ピカソ、ミロに会う。
- 1960 年 九州の装飾古墳を見歩く。
- 1962 年 マヤ遺跡の拓本を採集。翌年、東京国立近代美術館で「マヤ芸術の拓本展」開催。
- 1965 年 この頃から建築装飾や壁画の制作を手がける(以後、30 点以上を完成)。
- 1970 年 日本での最初のマヤ文明展(日本橋三越)を実現させる。
- 1972 年 メキシコ政府よりアギラ・アステカ文化勲章を受章。87 年にも再受章。
- 1975 年 自宅に「ARTE TONEYAMA 音楽絵画研究所」を開設。毎年展覧会やイベントを開催。
- 1979 年 愛媛新聞主催「利根山光人の世界展」(いよてつそごう)開催。
- 1985 年 第 17 回日本芸術大賞受賞。
- 1994 年 逝去。
- 1995 年 世田谷美術館で「利根山光人展 —太陽と古代・そして永遠への憧憬」開催。

バイタリティーを求めて

関連催事・イベント

① プロムナード・コンサート

演奏者: 山口友由実氏(ピアノ)

日時: 7 月 15 日(月・祝) 1 回目: 13:00~ 2 回目: 15:00~ 各回 30 分程度

② 館長によるスペシャル・ギャラリートーク: 6 月 30 日(日)

③ 学芸員ギャラリー・トーク: 6 月 23 日、7 月 14 日・28 日、8 月 4 日 各日曜日

*いずれも 14:00 から 45 分程度。チケットをご用意のうえ、展覧会場入口付近にお集り下さい。

④ 利根山光人展 記念スタンプ・コーナー エントランスホール

☆ 美術館で語りあおう — トークフリーデー 会期中の水曜・土曜日

【問い合わせ】 町田市立国際版画美術館 担当学芸員 滝沢恭司

〒194-0013 東京都町田市原町田 4-28-1

Tel: 042-726-0860(学芸係) Fax: 042-726-2840

e-mail: bunsपो040@city.machida.tokyo.jp

<http://hanga-museum.jp/>

作品の画像ご希望の方は、件名を「利根山光人展画像希望」として、下記のアドレスまで、ご希望の画像番号をお知らせ下さい。

bunspo040@city.machida.tokyo.jp



① 古代の鳥
1971年 木版 786×522 mm
町田市立国際版画美術館蔵



② フィエスタ
1978年 スクリーンプリント
620×830 mm 個人像



③ Viva Mexico
1980年 木版 337×492 mm
町田市立国際版画美術館蔵



④ オルメカの謎
1977年 リトグラフ 420×570 mm
町田市立国際版画美術館蔵



⑤ 闘牛
1985年 リトグラフ 655×940 mm
町田市立国際版画美術館蔵



⑥ 蜃気楼 A
1986年 リトグラフ 695×980 mm
町田市立国際版画美術館蔵